

令和6年2月28日

受験生並びに関係各位

長崎県立大学

令和6年度一般選抜前期日程における入試ミスについて（御報告とお詫び）

令和6年2月25日（日）に実施した長崎県立大学情報システム学部情報セキュリティ学科の令和6年度一般選抜（前期日程）において、情報セキュリティ学科の2つの試験室のうち1つの試験室で、当該試験室の主任試験監督者が受験生に対し、試験開始時に誤った試験時間を口頭で伝えた入試ミスがありました。

受験生をはじめ関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1. 事案の概要

同日に実施した学力検査の試験時間は90分であり、ホワイトボードにもその旨掲示し、問題冊子にもその旨記載しておりました。

しかし、当該試験室の主任試験監督者が試験開始前の説明において、誤って1.3倍試験室用の「実施要領・監督要領」（注：試験監督者用の「実施要領・監督要領」では、「監督者の指示内容等」として、「通常の試験室用」の他に、受験上の配慮を必要とする受験生が受験する「1.3倍試験室用」のものも掲載しておりました。）を見て「試験時間は120分です。問題冊子の記載とは異なりますので注意してください。」と読み上げました。この際、別の試験監督者（1名）は誤りに気づきませんでした。

試験開始後80分が経過したところで、上記試験監督者が主任試験監督者に、残り時間10分であることを指摘し、主任試験監督者はこの時に当初の伝達の間違いに気づきました。そこで、主任試験監督者は、通常の試験室用の「実施要領・監督要領」に従い「試験時間はあと10分です。」と試験終了の予告を行いました。

そして、試験開始後90分が経過したところで、主任試験監督者は「解答をやめ、鉛筆を置いてください。」と発言し、試験を終了しました。

2月26日（月）に受験生の保護者の方から大学に問合せがあり、主任試験監督者及び試験監督者に確認したところ、以上の事実が判明しました。

2. 対応（希望者を対象とする再試験の実施）

（1）当該試験室の受験生のうち、希望者を対象に再試験を実施させていただきます。

①当該試験室で受験した受験生（54名）のうち、再試験の受験を希望する受験生を対象に、3月3日（日）及び4日（月）の2日間、本学シーボルト校において再試験を実施いたします。再試験受験希望者は、このいずれかの日程で受験することが可能です。

②対象となる受験生の皆様には、個別に連絡をとり、再試験の受験を希望されるかを確認させていただきます。

③再受験のためにかかる旅費、宿泊費は本学が負担いたします。

（2）合否判定の方法

再試験においては、前期日程と同程度の難易度の問題を出題します。

再試験を受験した場合は、再試験の成績に基づいて合否の判定を行います。

3. 再発防止策

後期日程に向け、また次年度以降の入学者選抜において、二度とこのようなミスが起こら

ないよう、「実施要領・監督要領」の見直し、事前の説明会や研修での注意事項の徹底、試験実施当日に何かあった場合の迅速な連絡や協議の徹底など、再発防止に努めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

シーボルト校学生支援課

担当者：田口・藤原

電話：095-813-5065